



| | |
|--------------|---|
| Title | Gallia 55号 報告 |
| Author(s) | |
| Citation | Gallia. 2016, 55, p. 195-197 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/61934 |
| rights | |
| Note | |

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

報 告

講義題目 (2015年度)

- 和田 章男 教授 (演) ベルギー世紀末文学『死都ブリュージュ』を読む(学部)
(演) プルースト『花咲く乙女たちのかげに』研究 (大学院)
- 山上 浩嗣 教授 (講) フランス 17 世紀文学史—バロックと古典主義 (学部)
(演) デイドロ『サロン評』を読む (学部)
(講) パスカル『パンセ』を読む (学部)
(演) 『ポール＝ロワイヤル論理学』を読む (大学院)
- Agnès DISSON 教 師 (演) Exercices pratiques (学部)
(演) Introduction à la poésie du 19ème siècle (1 学期)
(学部・修士)
(演) Introduction à la poésie du 20ème et 21ème siècle (2 学期)
(学部・修士)
(講) Ecriture de soi : autobiographie et auto-fiction (大学院)
(演) Techniques de la dissertation et du commentaire (大学院)
- 春木 仁孝 教授 (講) フランス語史の諸問題 (共通)
- 岩根 久 教授 (講) フランス・ルネサンスにおける古典の受容と詩の実践
—16 世紀中期のソネを中心に— (1 学期) (共通)
- 武田 裕紀 講 師 (講) デカルト『方法序説』を通して見た 17 世紀の知 (1 学期)
(共通)
- 堀 潤之 講 師 (講) ヌーヴェル・ヴァーグ以降のフランス映画史 (2 学期)
(共通)
- 吉田 典子 講 師 (講) フランス近代の文学と絵画 (1 学期) (共通)
(講) フランス近代の文学と絵画 (集中講義) (共通)

修士論文題目 (2014 年度)

Huysmans et l'écriture picturale : autour de ses deux recueils de poèmes en prose

安 達 孝 信

日本フランス語フランス文学会研究発表

2015 年 5 月 30 日 (土)・5 月 31 日 (日) (全国春季大会、於明治学院大学)

・初期ヴェルレーヌにおける『悪の華』の受容と実践

山 本 健 二

- ・ブルーストと20世紀—たとえば女性作家や思想家たち—(ワークショップ「ブルーストと20世紀—たとえば女性作家や思想家たち—」)

小川 美登里

2015年10月31日(土)・11月1日(日)(全国秋季大会、於京都大学)

- ・バルザックにおけるE. T. A. ホフマン『ドン・ジュアンの上演』の受容—『あら皮』を中心に

山崎 恭 宏

- ・デュ・ベレー『ローマの古跡』『夢』における隠蔽と解説(ワークショップ「フランス・ルネサンス文学における隠蔽と解説」)

林 千 宏

2015年12月5日(土)(関西支部大会、於大手前大学)

- ・ユイスマンスの自然主義小説における理想的画家像の変遷——散文詩集『パリ・スケッチ』から小説『世帯』へ

安 達 孝 信

- ・マルロー芸術論におけるフォルムと逆光の芸術について

井 上 俊 博

- ・『社会契約論』における人体の比喩

松 川 みゆう

大阪大学フランス語フランス文学会研究発表

第77回研究会 2015年10月3日(土)(於大阪大学文学部棟2階大会議室)

- ・マルセル・ブルースト『失われた時を求めて』における音楽作品の機能—なぜ「金管楽器」なのか?—

森 康 晃

- ・ユイスマンスの散文詩集『楽味箱』における絵画的描写

安 達 孝 信

司会：足 立 和 彦

- ・母を看取る女性作家たちのことば—ジョルジュの娘ソランジュを含めて

高 岡 尚 子

司会：小 山 美沙子

第78回研究会 2016年3月5日(土)(於大阪大学中庭会議室)

- ・ Verlaine comme poète républicain- autour des poèmes écrits sous le Second Empire -

山本健二

- ・ L'œuvre de sapate, sapate à l'œuvre : sur l'idée motrice du *Parti pris des choses*

太田晋介

司会：高階早苗

ディソン先生退職記念講演

- ・ Poésie contemporaine : les nouveaux territoires du végétal
- Ryoko Sekiguchi, Suzanne Doppelt, Justine Landau -

Agnès Disson

司会：深川聡子